令和８年度

第９回教育委員会（定例）

令和８年１０月２８日提出

丹波篠山市教育委員会

（議事日程）

日　程　令和　８年１０月２８日　　午後２時００分～
場　所　市役所第２庁舎３階　２－３０１・３０２会議室

開会あいさつ

開会宣言　　時　　分

日程第１　第８回会議録の報告・承認

日程第２　会議録署名委員指名
　　番委員（　　委員）

日程第３　会期の決定　自 令和　８年１０月２８日　至 令和　８年　　月　　日　　日間

日程第４　議案
　第１８号　令和８年度補正予算（第５号）案を市長に提案することについて
　　(教育総務課)・・・１頁

日程第５　報告事項
　１　寄附採納について　　(教育総務課)・・・２頁
　２　後援名義の承認について　　(教育総務課)・・・３頁
　３　小中学校児童生徒の生徒指導等の対応について　　(学校教育課)・・・５頁
　４　令和８年度１０月小・中・特別支援学校定例校長会について
　　(学校教育課)・・・８頁
　５　令和８年度全国学力・学習状況調査（４月２３日）の結果について
　　(教育研究所)・・・９頁
　６　教育長報告　　・・・12頁

《次回定例会》
教育委員会(定例)　日程：令和8年11月20日（金）14:00～　場所：市役所第2庁舎3階2-301・302会議室

議案第１８号

令和８年度補正予算（第５号）案を市長に提案することについて

令和８年度補正予算（第５号）案を次のように市長に提案したいので、丹波篠山市教育委員会事務決裁規則（平成１４年篠山市教育委員会規則第５号）第４条第９号の規定に基づき、教育委員会の議決を求める。

令和８年１０月２８日

丹波篠山市教育委員会
教育長　丹　後　政　俊

《以下別紙１》

報告１

寄附採納について

次のとおり寄附の申出があり承認いたしましたので、丹波篠山市教育委員会事務決裁規則（平成１４年篠山市教育委員会規則第５号）第６条第３項の規定に基づき報告いたします。

令和８年１０月２８日

丹波篠山市教育委員会
教育長　丹　後　政　俊

No.	寄附者	品目	数量	価格	備考
1	古市小学校幼稚園 ＰＴＡ及び有志	乗用芝刈り機 肥料散布機	各１台	922,900円 12,684円 相当	古市小学校及び古市幼稚園の環境整備のために活用

報告２

後援名義の承認について

丹波篠山市教育委員会の後援名義使用願いについて、次のとおり承認しましたので、丹波篠山市教育委員会事務決裁規則（平成１４年篠山市教育委員会規則第５号）第６条第３項の規定に基づき報告いたします。

令和８年１０月２８日

丹波篠山市教育委員会
教育長　丹　後　政　俊

No.	名称	実施日	団体	場所
1	第 25 回丹波篠山市菊花展	令和 8 年 11 月 1 日～16 日	丹波篠山市菊花同好会 会長　岸田　士郎	篠山城跡 三の丸広場
2	第 18 回Mランドフェスタ 2026	令和 8 年 11 月 8 日	株式会社　篠山自動車教習所 代表取締役　井階　正義	丹波篠山市内
3	オンラインゲームで消火体験！親子で備える防災&マネー講座～「もしも」に備える、家族の安心づくり～	令和 8 年 11 月 28 日	一般社団法人　ママと子どもの子育てラボ 森次　芳江	丹波篠山市民センター
4	第 12 回丹波ささやま人形劇フェスタ	令和 8 年 11 月 22 日	丹波ささやま人形劇フェスタ実行委員会 砂山　真一	篠山チルドレンズミュージアム
5	篠山こども狂言　春の発表会	令和 9 年 1 月 24 日	篠山こども狂言 西垣　佑佳	田園交響ホール

No.	名称	実施日	団体	場所
6	アグリフェスタ 2026	令和 8 年 11 月 23 日	一般社団法人　アグリステーション丹波ささやま 代表理事　西尾　雅子	アグリステーション丹波ささやま
7	第 22 回ヘリテージマネージャー大会ｉｎたんば	令和 8 年 11 月 15 日	第 22 回ヘリテージマネージャー大会実行委員会 大会実行委員長　出町　慎	篠山小学校

報告３

小中学校児童生徒の生徒指導等の対応について

小中学校児童生徒の生徒指導等の対応について、丹波篠山市教育委員会事務決裁規則（平成１４年篠山市教育委員会規則第５号）第６条第３項の規定に基づき報告いたします。

令和８年１０月２８日

丹波篠山市教育委員会
教育長　丹　後　政　俊

《以下次頁》

令和7年・令和8年度　小学校児童の生徒指導等件数

丹波篠山市教育委員会学校教育課　令和８年９月末現在
上段は昨年度、下段は今年度の数

			年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
暴力行為	対教師暴力	学校内	R7		1		1		1			1	1	1		6
			R8	2	3	1	2		3							11
		学校外	R7													
			R8													
	生徒間暴力	学校内	R7	2	4	11	3		4	2	5	3	6	2	1	43
			R8	5	3	10	4		6							28
		学校外	R7													
			R8						2							2
	対人暴力	学校内	R7													
			R8													
		学校外	R7													
			R8													
	器物損壊		R7	1							1	1	2	1	1	7
			R8	2		1			1							4
恐喝			R7													
			R8													
窃盗・万引き等			R7											2		2
			R8					3	1							4
その他（強盗・放火等）			R7													
			R8	2	1	1	1									5
怠情浪費	深夜はいかい		R7													
			R8													
	家出		R7													
			R8					1								1
	無断外泊		R7													
			R8													
	金品持ち出し		R7													
			R8													
不健全性的行為			R7													
			R8													
飲酒喫煙等	飲酒		R7													
			R8													
	喫煙		R7													
			R8													
	薬物乱用		R7													
			R8													
粗暴	けんか		R7						1				1	2		4
			R8			1			1							2
その他（不良交遊・危険遊戯・指導不服従等）			R7	1		1				2	1	3	2	1	1	12
			R8	1	2		3		19							25
無免許運転			R7													
			R8													
いじめ			R7		6	11	4		4	9	2	1	3	3	1	44
			R8	2	4	11	2		1							20
合計			R7	4	11	23	8		10	13	9	9	15	12	4	118
			R8	14	13	25	12	4	34							102

不登校	R7児童数	R7		3	9	10	10	11	13	22	22	25	27	31
	1816			0.17%	0.50%	0.55%	0.55%	0.61%	0.72%	1.21%	1.21%	1.38%	1.49%	1.71%
	R8児童数	R8		2	12	16	16	24						
	1749			0.11%	0.69%	0.91%	0.91%	1.37%						

令和7年・令和8年度　中学校生徒の生徒指導等件数

丹波篠山市教育委員会学校教育課　令和８年９月末現在
上段は昨年度、下段は今年度の数

			年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
暴力行為	対教師暴力	学校内	R7										1			1
			R8		1											1
		学校外	R7													
			R8													
	生徒間暴力	学校内	R7	2		4	6	1	1	5	1	1			4	25
			R8	4	3		1		2							10
		学校外	R7						1			1				2
			R8	1	1											2
	対人暴力	学校内	R7													
			R8													
		学校外	R7													
			R8													
	器物損壊		R7		1		1		1				2	1		6
			R8	1	1	1	1		1							5
恐喝			R7													
			R8													
窃盗・万引き等			R7										1			1
			R8					2								2
その他（強盗・放火等）			R7						1	1						2
			R8													
怠惰浪費	深夜はいかい		R7													
			R8					2								2
	家出		R7													
			R8													
	無断外泊		R7													
			R8													
	金品持ち出し		R7					1								1
			R8													
不健全性的行為			R7	2												2
			R8		1	1										2
飲酒喫煙等	飲酒		R7													
			R8													
	喫煙		R7													
			R8			2		2								4
	薬物乱用		R7													
			R8													
粗暴	けんか		R7		1						1					2
			R8			1			1							2
その他（不良交遊・危険遊戯・指導不服従等）			R7	6	12	5	6	1	6	21	15	7	7	11	3	100
			R8	9	5	8	4		10							36
無免許運転			R7													
			R8													
いじめ			R7	1	6	10	3	2	1	2	2	3		6	5	41
			R8	1	3	5	1		2							12
合計			R7	11	20	19	16	5	11	29	19	12	11	18	12	183
			R8	16	15	18	7	6	16							78

不登校	R7生徒数	R7		12	26	29	29	38	45	57	59	70	77	83
	990			1.21%	2.63%	2.93%	2.93%	3.84%	4.55%	5.76%	5.96%	7.07%	7.78%	8.38%
	R8生徒数	R8		7	19	32	32	37						
	959			0.73%	1.98%	3.34%	3.34%	3.86%						

報告４

令和８年度１０月小・中・特別支援学校定例校長会について

令和８年度１０月小・中・特別支援学校定例校長会について、丹波篠山市教育委員会事務決裁規則（平成１４年篠山市教育委員会規則第５号）第６条第３項の規定に基づき報告いたします。

令和８年１０月２８日

丹波篠山市教育委員会
教育長　丹　後　政　俊

《以下別冊１》

報告５

令和８年度全国学力・学習状況調査（４月２３日）の結果について

令和８年度全国学力・学習状況調査（４月２３日）の結果について、丹波篠山市教育委員会事務決裁規則（平成１４年篠山市教育委員会規則第５号）第６条第３項の規定に基づき報告いたします。

令和８年１０月２８日

丹波篠山市教育委員会
教育長　丹　後　政　俊

《以下次頁》

令和8年度 全国学力・学習状況調査（4月23日）の結果について
【中3英語の概要】

丹波篠山市教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査内容

学習指導要領に示されている目標や内容に照らした学習状況調査

(2) 対象及び教科

学年	小学6年生	中学3年生
教科	国語・算数	国語・数学・英語

(3) 出題内容・方法

・前学年の学習内容が基本。

・中学校英語はCBT方式により実施

生徒により問題を変えて実施

(4) 用語・表記について

比較について	「○」→丹波篠山市の正答率が全国値に対して +5ポイント以上【高い】
	「―」→丹波篠山市の正答率が全国値に対して 差がない【同程度】
	「▽」→丹波篠山市の正答率が全国値に対して −5ポイント未満【低い】

(5)その他

IRT(Item Response Theory：項目反応理論)スコア

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。この理論を使うと、異なる問題から構成される 試験・調査の結果を、同じ尺度で比較できる。IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定 し、500 を基準にした得点で表すもの。各教科に CBT・IRT を導入する年（中学校理科：R7、中学校英語：R8、国語、算数・数学：R9）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出。

【文部科学省解説ページ】

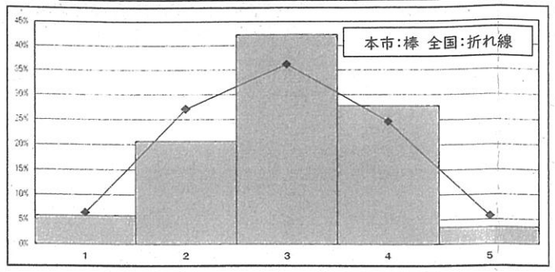
https://www.mext.go.jp/content/20250710-mxt_chousa02-000043584.pdf

1 問題別集計結果・正答率度数分布から （★は全員が取り組む問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨		正答率(%)	無解答率(%)
★1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	本市	67.6	0.0
			全国	60.2	0.2
			比較	○	−
2	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	本市	80.2	0.0
			全国	78.5	0.1
			比較	−	−
3	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	本市	79.2	0.0
			全国	76.0	0.1
			比較	−	−
4	職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する	日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる	本市	51.5	0.0
			全国	43.8	0.3
			比較	○	−
★5	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる	本市	59.5	0.0
			全国	55.6	0.2
			比較	−	−
★6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	本市	64.2	0.3
			全国	67.3	1.1
			比較	−	−
7	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	本市	76.5	0.0
			全国	72.4	0.1
			比較	−	−
8	友達からのメッセージを読み、相手が示した条件に合うウェブサイトを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	本市	70.8	0.0
			全国	63.8	0.1
			比較	○	−
9	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する	日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる	本市	52.0	0.0
			全国	49.0	0.1
			比較	−	−
★10 (1)	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	本市	45.3	0.0
			全国	47.5	0.2
			比較	−	−
★10 (2)	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	本市	29.7	11.5
			全国	27.8	14.6
			比較	−	−
★11 ①	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	本市	67.9	1.0
			全国	58.9	2.5
			比較	○	−
★11 ②	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	本市	55.1	1.0
			全国	52.7	3.0
			比較	−	−
12	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	本市	43.6	6.9
			全国	47.5	8.7
			比較	−	−
13	留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	本市	38.5	1.0
			全国	44.0	9.3
			比較	▽	○
14	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	本市	31.3	12.1
			全国	27.8	14.2
			比較	−	−
★15 (1)	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に明日の天気を伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	本市	52.3	11.6
			全国	42.3	9.2
			比較	○	−
15 (2)a	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生からの質問を聞き、明日しようと思っていることを伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	本市	31.6	12.0
			全国	33.5	12.0
			比較	−	−
15 (2)b	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に自分の家に来てもらうように依頼する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	本市	27.6	20.5
			全国	32.1	13.4
			比較	−	▽
16	留学生と一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる	本市	51.0	15.6
			全国	53.5	11.3
			比較	−	−
17	自分の好きな人物を1人取り上げ、好きな理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる	本市	44.8	12.5
			全国	48.0	12.1
			比較	−	−
18	自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を1つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる	本市	17.2	19.4
			全国	21.5	13.5
			比較	−	▽
★19	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す	社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる	本市	18.9	20.0
			全国	25.8	17.0
			比較	▽	−

令和8年度全国学力学習状況調査結果　　丹波篠山市教育委員会
中学3年生 英語

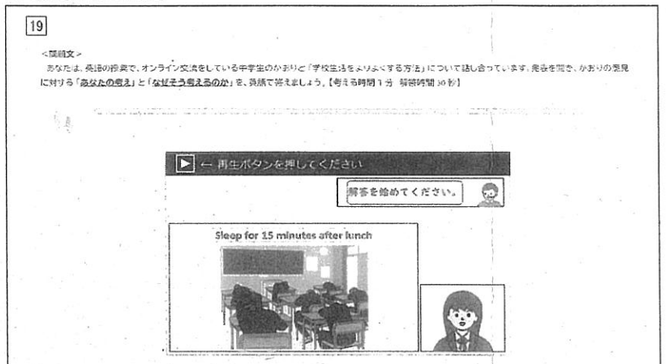
IRTバンド分布グラフ（CBT調査によるため英語のみ分析）
縦軸：IRTバンド 横軸：割合



- ○ 平均正答率は、全国と同程度である。（本市52.2%、全国50.0%）
- ○ 平均IRTスコアは、全国と同程度である。（本市503、全国499）
- ○ IRTバンド分布グラフでは全国と同程度の分布を示している。二極化の傾向は見られない。
- ○ 全国より正答率の高い問題は5問、低い問題が2問ある。無解答率は全国と大きな差はない。

IRTスコア
児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。この理論を使うと、異なる問題から構成される 試験・調査の結果を、同じ尺度で比較できる。IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定 し、500 を基準にした得点で表すもの。

2 課題のある問題



（正答の条件）
次の条件を満たして解答している。
条件① 話し手の意見に対する自分の考えを話している。
条件② 条件①の理由を話している。

1	◎	条件①、条件②を満たして解答しているもの
2	○	文法事項などに誤りがあるが、条件①、条件②を満たして解答しているもの ※「文法事項など」とは、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを指す
3		条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
4		条件①を満たし、条件②に関する発話がないもの
5		条件①を満たしていないが、条件②を満たして解答しているもの
6		条件①に関する発話はないが、条件②を満たして解答しているもの
7		条件①、条件②を満たさないで解答しているもの
99		上記以外の解答
0		無解答

- ○ 問19では「学校生活をよりよくする方法（昼休み後に15分間の仮眠をするという案）」に関して聞いた内容に対し、自分の考えとその理由を述べる形式で出題されている。
- ○ 解答類型3・4の割合（本市30.9%）が全国平均と比較してやや高い割合を示している。
これらの生徒の多くは、音声を聞いて質問の意図を捉え、「賛成/反対」「良いと思う/思わない」といった自身の立場を英語で述べることはできている。しかし、その理由を論理的・具体的に英語で述べられない、理由が浮かばない、理由を述べるための英語力（語彙・文法）が不足している等、思考面・言語面において課題があると考えられる。
このことから、生徒の多くが「自分の立場+その理由」という、根拠を添えたまとまりのある発話を組み立てる段階で難しさを抱えている状況うかがわれる。

3 課題の改善に向けて

授業において「意見+理由」をセットで発信する型を習慣化することが効果的です。単に文法的な理由（Because …）を暗記させるのではなく、相手に納得してもらうために思考を整理し表現する「論理的思考力・発信力」を培うことが求められています。そのためにも、対話を通じて考えを深める習慣や自身の体験・具体例を根拠として提示する意識を育てることが重要です。
日頃から「結論・理由・具体例」という思考の型を示して整理させ、ペアワークでWhy?やTell me more.と問いかけ合うやり取りを取り入れたり、理由として自分の体験談を話す工夫をしたりする等、自分の考えや思いに理由・根拠を添えて伝える価値を共有し、相手にわかりやすく届ける発信力を高めていくようにしましょう。

報告６　教育長報告

日	月	火	水	木	金	土
				10/1 8:30 辞令交付式 9:30 篠山東中学校体育祭	10/2 13:30 篠山産業高校長・ぼたん会会長来庁	10/3 9:00 第９回八上スポーツフェスティバル（八上小学校）
10/4	10/5	10/6	10/7 8:45 部長会議・政策会議	10/8 16:00 スタンダップ！（朝日）収録（小田垣商店） 17:00 所属長会議	10/9 10:00 小・中・特別支援学校10月定例校長会 13:00 １２月補正教育長ヒアリング	10/10
10/11	10/12 13:00 第４回丹波国際映画祭グランプリ授賞式（春日文化ホール）	10/13 8:45 政策会議 9:30 たかしろ保育園対応	10/14 9:30 市長協議 10:00 10月例規審査会 14:00 令和８年度丹波篠山市防災会議 16:00 所属長会議	10/15 9:00 議案検討会 14:00 丹波地区教育委員会連合会研修会（丹波篠山市民C） 16:30 谷哲一さん(篠山東中・砲丸投げ)表敬訪問	10/16 11:00 ワラワラ市高校生表敬訪問 14:00 第25回丹波地区小中特別支援学校事務研究協議会研究会（丹波篠山市民C） 16:00 PR奨励金表敬訪問	10/17 10:00 第38回丹波たんなん味覚まつり（四季の森生涯学習C）

日	月	火	水	木	金	土
10/18	10/19 9:00 指定管理候補者選定委員会（篠山口駅西駐車場） 10:00 R9 予算（骨格事業）教育長ヒアリング 15:00 ウイズささやま来庁	10/20 8:45 政策会議 9:30 要望対応 10:30 R9 予算（骨格事業）教育長ヒアリング 16:00 市長対応	10/21 9:00 R9 予算（骨格事業）教育長ヒアリング 16:00 所属長会議	10/22 13:30 令和 8 年度近畿都市教育長協議会研究協議会（小野市）	10/23 決算全体会（表決） 9:00 R9 予算（骨格事業）教育長ヒアリング 14:00 丹波篠山市公立学校事務研究会全体研修会	10/24
10/25 14:00 西紀街角コンサート ざぶとんコンサート参拾（和寿園）	10/26	10/27 8:45 政策会議 9:15 R9 篠山の教育＆主要事業教育長ヒアリング 13:00 第 2 回兵庫県都市教育長協議会役員会（高砂市役所） 14:00 令和 8 年度第 2 回兵庫県都市教育長協議会（高砂市役所）	10/28 9:00 丹波篠山市小学校長会 10 月定例会（今田小学校） 10:00 やさしい日本語講座（丹波篠山市民 C）			

10月校長会

第127回丹波篠山市議会長月会議一般質問

丹波篠山市教育委員会　教育長　丹後政俊

質問１　教育行政の今後の課題は統廃合ではないか

谷口元教育長の「郷友」寄稿回顧録を市史編さんの資料として活かせないか、谷口元教育長の少子化には学校の統廃合しかないとの指摘をどう受け止めたか

（答）「丹波篠山市史」の編さんにおいて、令和１２年度に近現代の資料編、令和１５年度に近現代の通史編の刊行を予定しています。現在、近現代編専門部会において、市内の各学校の沿革誌をはじめ、明治から戦前にかけての行政文書、教育に係る論文・書籍等の収集・整理を進めている段階です。

谷口氏のご意見については、貴重なご意見の一つのとして受け止めています。

学校統廃合については、教育の質の確保とともに、教育の機会均等を確保する観点から、地域の実態を踏まえながら進めていく必要がある中、国や兵庫県教育委員会の指針にもある通り「各市町における学校規模の適正化に向けた検討は、統廃合もしくは存続のいずれかのゴールありきで、行政が一方的に進めるものではない～」との考えも踏まえ、保護者や児童生徒の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど丁寧な議論を行っていきます。

【再質問教育長答弁】

「少人数・小規模校が増えているので、全国学力調査で小学校の平均が全国よりも７～８％低いのではないか」という意見については、テストで測れる学力は生きる力の一部であるが、そこも大事にし、しっかり分析し改善してきている。本市では中学校では全国平均と同程度か、若干上回る状況になっている。テストの点数等で測れない、意欲、協調性、自制心などの非認知能力も大事にしていく。

【質問事項２】給食費無償化の恩恵をすべての子どもに

本年４月からの小学校の給食費無償化について、非喫食者（重度の食物アレルギー、宗教上の理由、長期欠席や不登校の児童）に対し無償化の恩恵を受けることができていないのではないか。

（答）給食を喫食することができない児童について、給食費相当額の給付ができるよう、令和９年４月からの制度実施を目指して検討を進めていくが、不登校児童については、いつでも学校に戻ることができ、学校に登校した際には給食を食べることができる環境を整えておくことは大切であるので、給付金を受けるために給食を停止するという選択が増えることにならないよう、保護者への説明は丁寧にしていきたいと考えています。

【質問事項３】部活動の地域展開について

「体験の格差」解消と今後の推進体制についてどのように考えているのか

（答）本事業は、全国的に「部活動改革」と呼ばれていますが、従来の部活動の仕組みの継続ではなく、

新しい制度の枠組みとして推進されています。本事業の基本理念は、少子化により学校単位での部活動の維持が困難となる中、学校の枠を超えた「地域主体の活動」へと転換していくことです。あわせて、中学生のスポーツ・文化活動の機会を創出するとともに、学校・教員の働き方改革を進めるものです。スポーツや文化活動を通じて、子どもたちが自らの興味関心を深く追求し、それぞれの個性や能力を主体的な取り組みによって伸長させ、仲間とともに切磋琢磨しながら社会性や人間性を育むことを目的としています。

【市長答弁】

保護者からの質問書などに「（今後の動向は）分からない」と答えたのではなく、今、総合教育会議などで議論している。部活動は生徒が成長する大変いい機会であるので、部活動指導員を配置する等どのように地域展開していくかを考えている。みんなの意見を聞く機会も設けたいと考えている。

【質問事項４】「まず受け止める」不登校支援について

（答）「お腹が痛い」といった身体のＳＯＳ、あるいは保護者が抱く不安は、不登校の初期段階、議員ご指摘の「状態０」におけるサインであると考えます。こうした初期の不安に対し、行政の側から「些細なことでも相談して良いのだ」というメッセージを送り、相談への心理的ハードルを下げることは大切なことだと考えます。ご提案いただきました保護者・児童生徒の困り感に寄り添い、その解決に向けた考え方や、選択肢を提案できるリーフレットの作成・配布を検討し、児童生徒、保護者への周知に努めていきます。

不登校の課題は、複合的な要因が絡み合っていることが多く、学校単独での抱え込みや、保護者が何度も説明を必要とする状況の改善について、教育・福祉・保健等の関係分野が相互に連携し、組織的に支えていくことが「子どもの最善の利益」を守るために重要なことであると認識しています。

また、議員ご提案の、不登校の初期段階「状態０」の段階から、関係者との情報共有や支援の方向性を合わせる取り組みについて、現在、不登校の初期段階においては、学校では生徒指導委員会を開き、早期にスクールソーシャルワーカーを交えたコンサルテーションを行う等、必要に応じて福祉等関係機関へつなげる体制を整えています。また、幼小、小中など校種間でのサポートファイルの引継ぎを通した情報共有も行っているところです。すでに実施している不登校対策チームによるケース会議の枠組みや、保健・福祉分野における重層的支援体制のネットワークも生かしながら、サポートファイルを有効活用し、初期段階から保護者が負担を感じることがないよう、教育・福祉・保健のスムーズな連携を今後も進めていきます。

個々の全てのケースに、多くのメンバーが一堂に会して、「状態０」の段階から「合同ケース会議」を即時に起動させていくことについては難しい面もあると考えていますが、すべての子どもたちにとって安全・安心で温かい居場所を学校内外に保障し、保護者の皆様が孤立せず、安心して最初の一歩を踏み出せるよう、教職員のウェルビーイングも確保しながら、子どもたちの社会的自立に向けた多角的な支援体制の充実に努めていきます。